

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 9
- know「農」 12
- カルチャー 13
- 町の情報ひろば 14
- 素敵人 16
- こうげマンが行く! 16



町の花(春)桜
町の花(秋)コスモス
町の花(冬)梅

●編集発行/上毛町役場企画情報課
●印刷/第印刷株式会社
〒871-0902
福岡県築上郡上毛町大字垂水1-3-21-1
TEL 0979-72-3111
FAX 0979-72-4664

人の動き

8月31日現在

●人口	8,084 (±0)
●男性	3,825 (-3)
●女性	4,259 (+3)
●世帯数	3,117 (+3)

うち外国人

●人口	23
●男性	20
●女性	3
●世帯数	22 (うち混合世帯3)

参考

平成17年10月11日合併時

●人口	8,499
●世帯数	3,057

ごみの量

8月31日現在

- 可燃ごみ 140.48t (-10.63t)
- カン・ペットボトル 5.21t (+1.60t)
- びん 6.67t (+2.18t)
- 古紙他 13.40t (-7.07t)
- 可燃粗大 4.13t (+1.87t)
- 不燃 7.22t (+0.05t)
- プラスチック製容器包装 1.81t (-1.17t)
- 紙パック、白色トレイ 0.05t (-0.02t)

※()内は前月増減



環境対応型植物油インキを使用しております。

人と文化が輝くふれあいのまちを目指して

文化財を活用するまちづくりに積極的に活動している方々を紹介します



大ノ瀬自治会長
武井一彦さん



百穴壮年会事務局長
百留義信さん



花でふるさとを彩る

現在の築上郡東部と豊前市の大部分からなる古代上毛郡の郡役所跡である大ノ瀬官衙遺跡をまちの名所にしようと平成13年から秋に秋桜(コスモス)、春は菜の花を栽培しています。

初年度に道の駅側の約90%から栽培を始め、平成21年度からは1.9%栽培しています。作業は全区民で行い、7月に秋桜、11月に菜の花の種蒔きが定着しています。作業にあたっては区民相互の一体感が生まれることを目指し、老若男女全員で取り組んだ結果、全区民に親近感と連帯感が広がり非常に親密な関係になりました。遠方から見物に見えた方から「この花は特に美しい」と褒められると、充実感や達成感で幸せになり、励みになっています。

活動を通じて感じていることは、それまで何気なく過ごしてきた季節感が感じられるようになったこと、作物の栽培を通じ区民の話題が共有できるようになったことで、みんなの団結力の高まりを感じています。また、栽培に携わり評価されることで、全員が誇りを感じていることは嬉しいことです。今や景観作物の栽培は区民それぞれの行事となり、種蒔きの時期が近付くと「より美しい花を咲かせよう」と、やる気にスイッチが入ります。

合併後、町の花に「秋桜」が選ばれたことは、区民に誇りと力を与えました。年中行事となった「景観作物栽培」が、これからも長く続き「区民の生きがいづくり」になれば良いと思っています。

地域を生き返らせる「地域の再生」

百留集落のはずれにある山の麓に多くの穴があり、親しみのある通称名で、「百穴」と呼んでいます。正式名称は「百留横穴(おうけつ)墓群」(町指定史跡)です。

平成になって地域おこしの気運が高まり、平成14年、年齢は問わず25名で「百穴壮年会」を設立し、現在も同じ会員で百穴の保全活動をしています。

平成18・19年度の発掘調査では、これまでの46基とは別に新たに3基の横穴墓が確認され、これら49基は今から1400年前の築造で「人骨・歯・装身具・土器・鉄器など」およそ1600点の遺物が出土しました。また、1つの墓から2人分の歯が発見され「家族墓」であることが確認されました。先祖供養と保安全管理をととして、地域住民の連帯感や郷土愛を養い、郷土のよさを生かし、開かれた地域にするため、みんなでこの「家族墓」を守っていくことにしました。

毎年、百穴周辺の枝切りや草刈り、ツツジなどの植栽をし、お盆の3日間は、百穴を照らす提灯を飾り、幻想的幽玄の夜の光景のもとに住民総出の盆飾り供養をしています。

振り返ると、百穴周辺を覆い隠す大木や竹類を伐採し、駐車場(兼広場)も整備されたことにより、遠くからの景観もよくなり、百穴墓群の様子が知れ渡り、見学者も増加し「百留の宝」となっています。

今後は、お盆の提灯飾りや盆踊りはもちろんのこと、百穴広場の整備や広報・啓発を積極的に行うなど、効果的にイベント実施していきたいと考えています。

「百留と言えば百穴」「百穴と言えば百留」の合言葉に似合う文化財保護と地域の発展に一層努力したいと思っています。

特集

人と文化が輝くふれあいのまちを目指して 地域と行政が連携した文化財の保存と活用

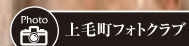
10月の表紙

木造薬師如来坐像(覚円寺/尻高)

日本三大修験道場であった彦山六峰のうちの一つである松尾山医王寺の本尊であった仏像です。

慶長七年(1602)の医王寺大講堂の落慶に際して開眼されました。

(県指定有形民俗文化財)



こうげマンが行く!

道の駅しんよしみ

今月の訪問地 大ノ瀬

イラスト/絵本製作委員会 東みどりさん

道の駅しんよしみとみでは地球にやさしい取り組みとしてマイバック運動などの「エコエキ」プロジェクトを実施しているよ。お買い物に行く時はエコバックを持って来てね。

隣のフードコートでは500円ランチが大人気! 遺跡が見渡せる芝生広場や休憩室もありドライブの疲れを癒す方が大勢いたよ。

こうげマンはお友だちのとよひめがいる「道の駅しんよしみ」に行ってきたよ。「道の駅しんよしみ」は国道10号沿い、大ノ瀬官衙遺跡に隣接した、全国でも珍しい史跡一体型の「道の駅」なんだ。

物産館には地元の生産者の方が心を込めて栽培した新鮮な農産物や手作りのお弁当、お魚や加工品がところ狭しと並んでいたよ。今の季節は新米やいちじくがお勧めで、問い合わせも多いみたいだよ。またテレビで紹介された上毛町産の商品を遠くから買いに来てくれる方も多いんだって。町のオリジナル商品の開発や販売を行っている道の駅は地域の情報発信基地としての大切な役割もなっていて、町のPRにも一生懸命なんだ。スタッフの皆さんはトイレの掃除や周辺のゴミひろいなどを毎日何回も行って、訪れた方が気持ちよく過ごしてくれるようにがんばってるんだよ。

10月7日には大ノ瀬官衙遺跡で上毛祭が開催されるよ。こうげマンに会いに来てね。